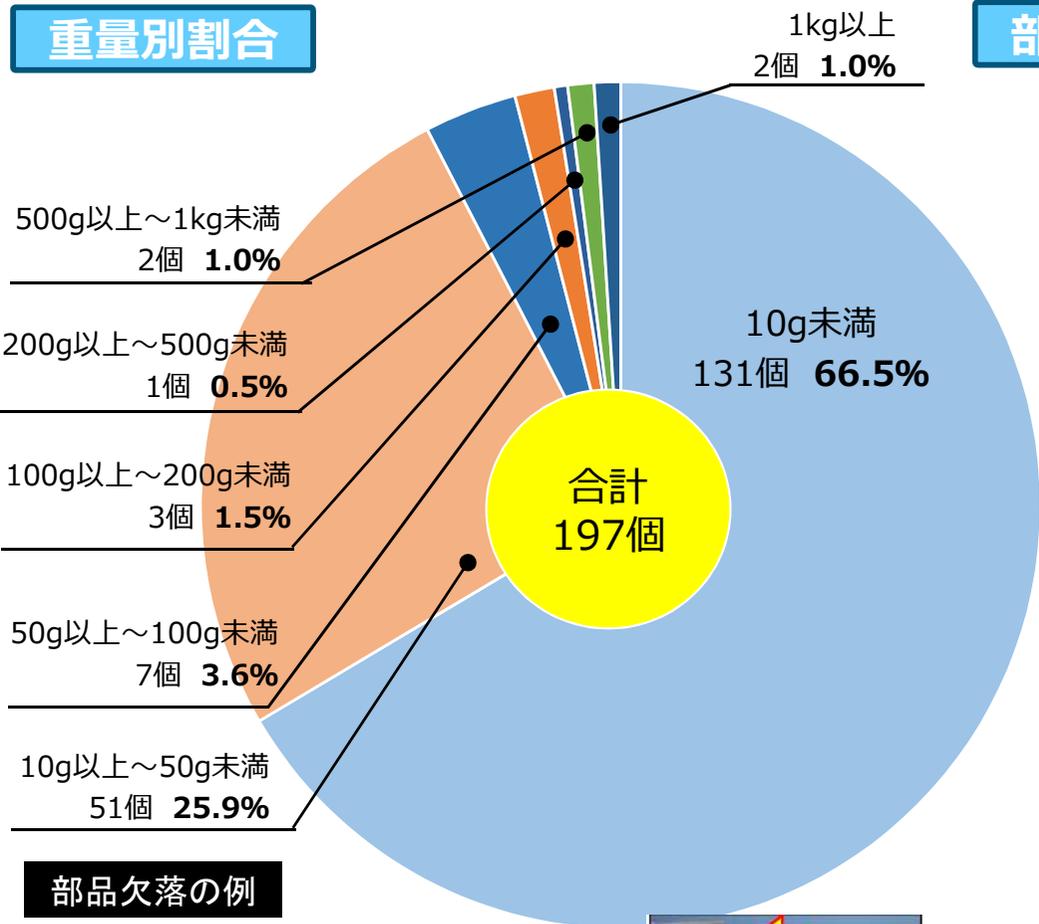


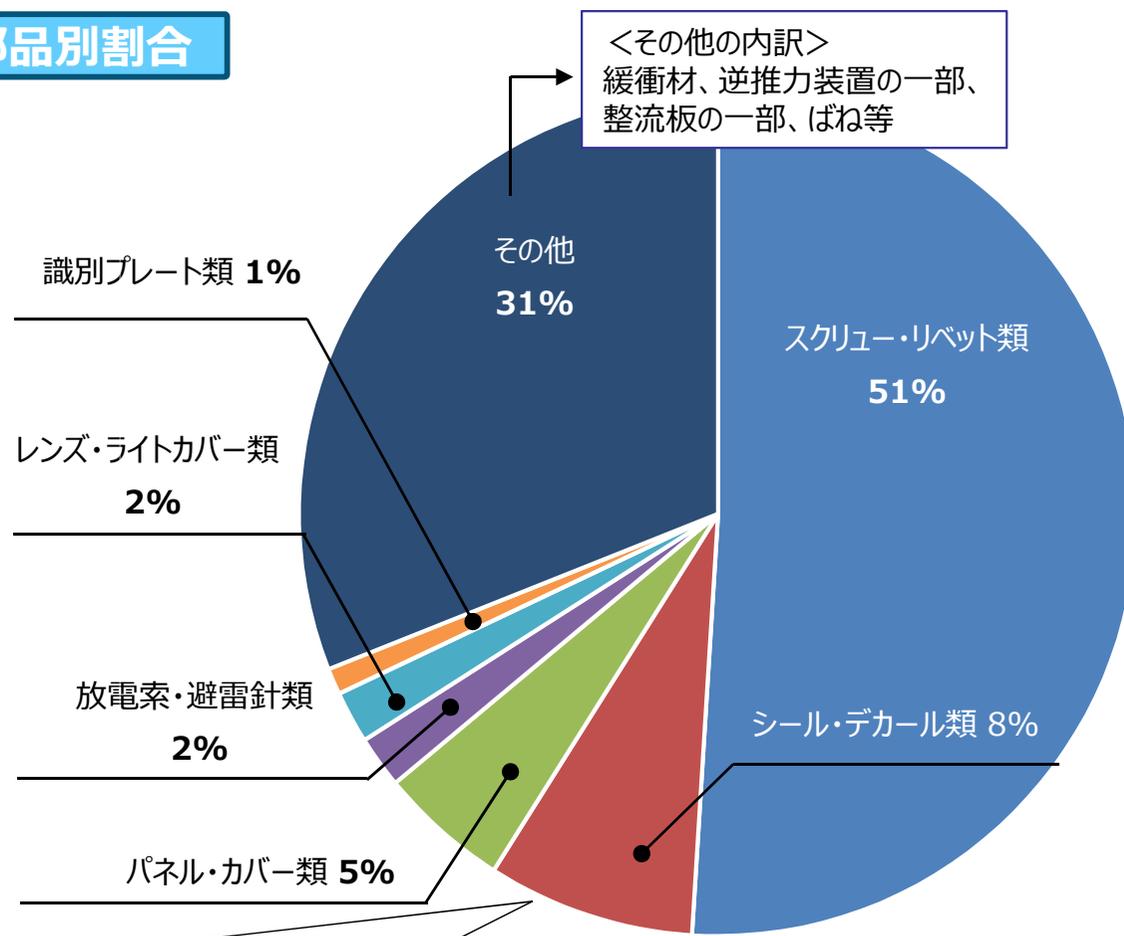
2022年10月～11月における部品欠落の重量別・部品別割合

- 部品欠落の報告制度により、羽田空港を含む7空港において2022年10月～2022年11月に報告された欠落部品の総計は197個であり、そのほとんどは100g未満、6割以上は10g未満である。
- また、欠落部品の多数を占める10g未満の部品についても、各航空会社において、落下物防止対策基準に従って、欠落事例を分析し必要な再発防止策が進められている。

重量別割合



部品別割合



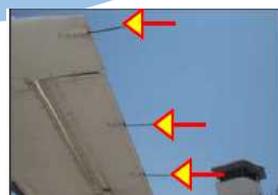
部品欠落の例



リベット(留め具)



シール



スタティックディスチャージャー(放電索)

- スクリュー・リベット類はいわゆる留め具であり、重さは1～10グラム程度のものがほとんど
- シール・デカール類の材質はアルミニウム、ゴム等であり、重さは1～30グラム程度のものがほとんど
- パネル・カバー類の材質は複合材等であり、重さは1～50グラム程度のものがほとんど
- 放電索・避雷針類の材質はアルミニウム、複合材等であり、重さは1～20グラム程度
- レンズ・ライトカバー類の材質はガラスであり、重さは2～100グラム程度
- 識別プレート類の材質はアルミニウム等であり、重さは5～7グラム程度